

選んだ俳句、作者を書く。

題名

積もってたのは雪だけでなく、
子規少年の切なさだった！

班で考えた
チャップレーズ

組	年
番	氏名

正岡子規

いくたびも 雪の深さを尋ねけり

病床にいた作者が、病室を出入りする人
雪がどのくらい積もったのかを何度も尋ねて
いる情景を描いている。いくたびも聞いて
いるところから、外の様子を知りたいとい
う子供っぽい気持ちを表現しているようにも
読める。しかし、この俳句には、重い病にか
かった作者が、自分で外に出て雪を見たの
に、それができない切なさが入められている。
この俳句の良さは、読み手によって様々な
解釈ができると思いきや、作者の置かれてい

心情 情景

鑑賞文とは、作品の
「良さ」を語ったもの

- 例えば...
- ・良い映画をみたあと...
 - ・主人公がカッコイイ
 - ・相手役が面白い味出してる
 - ・ストーリーが最高
 - ・台詞が心に残る
 - ・泣ける
 - ・曲がいい など

Point★
「すごい」「よかった」だけでは伝わらない作品の「良さ」を伝えよう

る状況が分かった途端、一気に切なさがおし
よせてくるところだ。はじめに読んだ時点で
は、どうして雪がどのくらい積もったのか、
自分で確認しないのか、とか、なぜ人に聞いて
いるのか、疑問に感じるところ。しかし、
「作者が病にかかっているからだよ」という理
由が分かった途端に、作者の切なさが伝
わってくる。さらに、「雪」という季語が、
その切ない気持ちや病のイメージと合っ
る点も良い。

作品の「良さ」(メイン)

話し合いをもとに、鑑賞文を書く。

条件

- ・話し合いを参考に、情景、心情、作品の「良さ」につづ書く。
- ・二〜三段落で書く。
- ・最初の段落で作品の解釈を書く。
- ・後半は作品の魅力について書く。

選んだ俳句

☆鑑賞しよう

この俳句の「良さ」	作者の心情	どういう情景か	自分の考え	班の考え
情景を想像しやすい。 寒い情景と、病室という 状況がマッチしている。 季語と上手に生かしている。 雪が病のイメージと合っている。	雪がどのくらい積もったのか、 知りたい。(何屋も聞けるから) 子供っぽい気持ち。	雪がどのくらい積もったのか、 知りたい。(何屋も聞けるから) 雪が降り積もっている。(いくたびも) 病室を出入りする人は何屋も よ入っている。(いくたびも尋ねてくる)	雪は、この積もっているのでは ないか。(雪の降り積もる様子) 雪が降り積もっている。(いくたびも) 病室を出入りする人は何屋も よ入っている。(いくたびも尋ねてくる)	どうして自分で雪がどのくらい 積もったのか、確認できないのか、 どうして人に聞いていいのか、 なぜ自分で見られないのか、 読み手によって様々な解釈が できるよ。

☆この俳句の「良さ」を伝えよう！
「積もってたのは雪だけでなく、子規少年の切なさだった！」